

高松国税局長賞受賞作品

「人々の笑顔をつくる税金」

伊予中学校3年

西山 瀬奈さん



して生活しているという輪の中にいるという不思議な気持ちになりました。私の祖母の足は、見ず知らずの人々に救われました。見もしなくても、知りもしなくても世界の人々は、つながっていて、人の命をつないで誰かの笑顔をつくっている。そんな素敵なつながりがいつまでも続くことを心から祈っています。そして、これからもしっかりと税金を納めて、祖母のように苦しんでいる人が少しでも元気に、笑顔になれるような世界をつくるために私達が団結して未来をつくっていくべきだと思います。

私の祖母はまた夏に入院します。また税金の力をお借りしなければなりません。人々の優しさが詰まった税金を大切に使いたいと思います。そして、税金について学んだことをしっかりと頭に入れて、これからの生活の中で、今税金で賄われているものすべてに感謝して生きていきたいです。あと、人々が一人でも多く税金のことをよく理解して、税金を大切にし、人々を笑顔にできる温かい心の輪が広がっていくことを心から祈っています。

最後に、税金さん本当にありがとうございました。

私の祖母は、春休みくらいからずっと入院していました。祖母は足が悪くて、歩くたびに「痛い痛い」と悲鳴を上げていました。私はその声を聞いてとても苦しそうなのに何もできない自分が情けなくなりました。

入院した祖母のお見舞いに行ったある日、祖母の手術代の話になりました。その話を聞いて驚いたのは、百万円払わなければならないということでした。しかし、もつと驚いたのは、税金のおかげで五十万円くらいになるということでした。その時祖母は、まだ一回目の片足だけの手術

術だったため、税金がなかったら両足で二百万円という大金を払わなければならなかったということ、驚きが隠せませんでした。それと同時に、税金を納めてくださっている皆さんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。私は苦しんでいる祖母のために何もできなくて、ずっと情けないと思っていたけれど、税金を払うことによって、祖母を助けられていたことがすごく嬉しかったです。

手術をしてから祖母は、まだ足の痛みはあるものの、前よりは元氣になりました。前まで痛さで歪んでいた顔もだいぶん和らぎ、笑顔で生活を

ているのを見て安心しました。

私はこの体験を通して、税金を納めることは本当に大切なことなのだと分かりました。今までよく税金のことを知らなかったけれど、税金は無駄なものではなく、人の命を救うこともできるのだなと感動しました。それだけでなく、私たちの身の周りにあるさまざまなものも税金で賄われていて、それがあのおかげで多くの人々が助かっているのですね。税金は人々の笑顔をつくり、守ることができる力を持つもので、人々が知らず知らずのうちに、見ず知らずの人を助け、そ